

平成28年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (2月23日実施)	総合評価(3月15日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	自立と社会参加を目指す、系統性のある教育課程編成の工夫改善とチームでの授業改善の充実を図る。	① 年間指導計画、個別教育計画、単元指導計画を系統性の視点をふまえて作成し、系統的な指導を実施する。 ② 研究授業と支援会議を計画的に実施し、チームでの授業改善に取り組む。	① 計画作成にあたり、各教育部門で作成した指導内容表を活用する。 ② 研究授業の振り返りのポイント、支援会議の話し合いのポイントを明確にし、効果的な授業評価を行う。	① 指導内容表に基づき、系統性のある計画作成及び系統的な指導が実施できたか。 ② 授業の評価をチームで行い、次の指導に活かすことができたか。	① 学習指導案や年間指導計画と指導内容表を関連づけて作成し、系統性のある計画作成が進んだが、指導への反映については検証が必要である。 【職員アンケート：そう思う19%】 ② チームでの授業評価の活発な実施により、授業改善策の検討がされ次の指導に活かすことができた。 【職員アンケート：そう思う46%】 【年次研研究授業実施回数33回 求められる教師像研究授業実施回数50回】	① 計画や指導内容の妥当性を評価・検討する機会を設定し、系統的な指導の実施を進める。 ② MTだけでなくSTの役割に着目した話し合いを持ち、チームティーチングの視点を深めた授業改善に取り組む。	① 実際の取組内容から、達成の実績をつかみにくい。具体的な方策の検証が必要である。 【保護者アンケート授業改善の取組：そう思う56.9% チーム指導の取組：そう思う56.9%】	① 系統性のある計画作成は進んだが、指導への反映について、計画や指導内容の妥当性の評価が必要である。 ② 授業評価を次の指導に活かすなど、授業改善が進んだ。さらにチームティーチングの視点を深めた授業改善に取り組むことが課題である。	① 計画や指導内容の妥当性を評価・検討する機会を設定する。 ② 実施する研究授業を精選し、支援会議の効果的な実施方法を工夫する。
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	児童・生徒一人ひとりの特性や教育ニーズを適切に把握し、個々の可能性を伸ばさせる指導を行う。	① 児童生徒の実態を的確に把握し、チームでの指導に活かす。 ② 個別教育計画の目標達成度評価により目標設定の確実性を高め、指導に活かす。	① 児童生徒の実態把握にあたり、日々の行動観察に加えて客観的なアセスメントの活用を図る。 ② 個別教育計画の目標達成度評価に基づいて指導計画の振り返りを行い、次の目標設定に活かす。	① 児童生徒の実態を的確に把握しチームでの指導に活かすことができたか。 ② 個々の実態に応じた適切な目標設定に基づく指導が実施できたか。	① 研究を通じた観察やアセスメントなど実態把握の手法の向上、客観的なアセスメントの活用による多面的な評価により、実態把握ができた。 【職員アンケート：そう思う35%】 ② 目標達成度評価の結果を次の目標設定に活かすことはできたが、目標設定の確実性を高めるまでには至っていない。 【職員アンケート：そう思う26%】	① 客観的なアセスメントの活用をさらに進め、チームでの指導に活かす方策を検討する必要がある。 ② ポイントを絞った目標設定やチームでの確認・評価など、確実性を高める手法を検討する。	① 日々の行動観察がしっかりとされている。生徒の行動の変容を踏まえて次の方策を考えることを期待する。 【保護者アンケート個別教育計画目標の適切な設定：そう思う69.2% 個別教育計画に基づく指導：そう思う57.7%】	① 多面的な評価による実態把握ができた。チームでの共有、指導への活用が課題である。 ② ポイントを絞った的確な目標設定が課題である。	① 学習グループごとの共有・協議の機会を設定する。 ② 継続的な研修会の実施、チームでの検討時間の確保を工夫する。
3 進路指導・支援	卒業後の一人ひとりの社会的自立や生活の充実をめざし、主体的な進路選択や個に応じた進路実現に向け、指導・支援する。	① 教育活動全体でキャリア教育の視点を踏まえて指導にあたり、個に応じたキャリア発達を促す。 ② 児童生徒、保護者が卒業後の生活をイメージできるよう支援し、主体的な進路選択の実現を図る。	① 個別教育計画や指導案にキャリア教育の視点を入れ、育てたい力を明確にする。 ② 進路に関する研修会の内容や実施方法の工夫改善、進路指導計画、内容の工夫改善を行う。	① 児童生徒個々のキャリア発達を促進できたか。 ② 生徒、保護者の主体的な進路選択・進路実現を図ることができたか。	① 日常的にワークキャリアやライフキャリアを意識した指導、授業づくりを通して個に応じたキャリア発達を促進した。 【職員アンケート：そう思う33%】 ② 研修会の対象者、内容、実施方法等の工夫改善により、生徒、保護者の主体的な進路選択を支援し、高等部3年生の進路実現を図ることができた。 【職員アンケート：そう思う37%】 【施設見学会開催状況41箇所 参加人数延べ518人】	① 育てたい力の明確化、チームでの共有の方法を検討する。 ② 生徒の主体的な進路選択・進路実現を図るため、進路学習の内容、計画の改善を行う。	① 高等部の実習など、キャリア発達を促す系統的なプログラムとして組み立てられていることは評価できる。 【保護者アンケート自立と社会参加に向けた指導・授業づくり：そう思う54.6% 進路や福祉制度に関する情報提供：そう思う49.2%】	① 児童生徒個々のキャリア発達を促進できた。 ② 児童生徒、保護者の主体的な進路選択の実現を図ることができた。進路学習の内容のさらに精選・充実することが課題である。	① 引き続き、教育活動全体でキャリア教育の視点を踏まえた指導を実施する。 ② 研修会の内容や実施方法の工夫改善、系統的な進路指導計画、内容の充実を図る。

4	地域等との協働	<p>地域との連携を図り、地域資源を活用した教育活動を推進する。</p> <p>地域における相談支援センターとしての機能の充実を図る。</p>	<p>① 地域との連携を図り、地域資源を活用した授業を行う。</p> <p>② 支援ニーズに応じた相談活動を組織的に行う。</p>	<p>① ゲストティーチャーやボランティア等外部人材・資源を活用する。</p> <p>② 支援先と連携して評価アンケートを実施し、支援方法の工夫改善につなげる。</p>	<p>① 外部人材・資源を活用した授業が展開でき、指導効果があがったか。</p> <p>② 支援ニーズに効果的に対応し、組織的な相談活動が実施できたか。</p>	<p>① 外部人材・資源を活用した授業を実施し、学習効果があがった。継続的なボランティアの活用を図ることができ児童生徒支援に効果があった。</p> <p>【職員アンケート： そう思う 31%】</p> <p>【授業実施回数 34回 GT延べ 77人】【職業体験有馬全学年 27回 向陽館 1年 25回 2年 21回】</p> <p>【ボランティア述べ 420人】</p> <p>② 評価アンケートの実施により支援の有効性が検証でき、相談活動の確実性を高めることができた。</p> <p>【巡回相談 25校延べ 40件】</p> <p>【アンケート回収 14件】</p>	<p>① 外部人材・資源を活用した授業を計画的に実施する。ボランティアの募集、活用方法を検討する。</p> <p>② 評価アンケートが支援策の課題改善につながるよう見直し、効果的な相談活動の推進を図る。</p>	<p>① ボランティア等外部人材を積極的に活用していることは大変評価できる。今後も一層活用が進むよう期待する。</p> <p>【保護者アンケート 地域の小中学校等への支援の取組： そう思う 22.3% 居住地交流や学校間交流の取組： そう思う 30.8% ボランティア等地域資源の活用： そう思う 31.5%】</p>	<p>① 外部人材・資源を活用した授業を実施し、指導効果があがった。ボランティアの活用方法の検討が課題である。</p> <p>② 支援ニーズに応じた相談活動が実施できた。さらに組織的な取組を進めることが課題である。</p>	<p>① 実施方法や内容を検討し継続して実施する。ボランティアの募集内容を精査する。</p> <p>② グループ内での支援方法の検討の充実を図る。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>安全で安心な教育環境の整備、学校体制整備を進める。</p> <p>教職員の人格的資質、指導力の向上及び人材育成を図る。</p>	<p>① 安全管理に関する計画、マニュアルの再整備を図る。</p> <p>② 各種研修計画を体系的に再編成する。</p>	<p>① 各種計画、マニュアルの見直しを行う。</p> <p>② 各種研修の見直しを行い、体系的に再編成する。</p>	<p>① 各種計画、マニュアルをより実際に即したものに整備できたか。</p> <p>② 各種研修の見直しを行い、教職員の指導力向上が図れたか。</p>	<p>① いじめ防止対策、緊急捜索、医療ケア、スクールバス、私費会計、防災等の計画、マニュアルの見直しを行い、実際に即した内容に整備できた。</p> <p>【職員アンケート： 医療ケア：そう思う 42% 緊急対応：そう思う 47% 防災教育：そう思う 44%】</p> <p>② 研修ごとに内容や実施方法を工夫改善して実施し教職員の指導力向上を図った。学校全体の研修を分野・実施時期ごとに整理した。</p> <p>【職員アンケート： そう思う 37%】</p>	<p>① より実地的な計画、マニュアルとなるよう、必要に応じて修正、改善を行う。</p> <p>② 分野・実施時期ごとに整理した内容に基づき、体系的な再編成を行う。</p>	<p>① 児童生徒の様子から、安心して学校生活を送っていることが見て取れる。</p> <p>【保護者アンケート 防災対策、緊急時の連絡体制の整備： そう思う 44.6% 児童生徒の健康安全への配慮： そう思う 61.5% 専門性の向上に向けた研修等の取組： そう思う 30.8%】</p>	<p>① 各種計画、マニュアルを実際に即した内容に整備できた。私費会計については精査することが課題である。</p> <p>② 研修により教職員の指導力向上に成果があった。研修の効果的な実施に向け、体系的な見直しが課題である。</p>	<p>① より実地的な計画、マニュアルとなるよう、必要に応じて修正、改善を行う。</p> <p>② 分野・実施時期ごとに整理した内容に基づき、体系的な再編成を行う。</p>